

全国ユース環境ネットワーク

全国ユース環境活動 事例集 2022

第8回 全国ユース環境活動発表大会全国大会 環境大臣賞受賞
宮城県農業高等学校 作物部門
活動名: #ZEROマイブラ2

本誌「全国ユース環境活動事例集 2022」は、全国の高校生や大学生のユース世代が、2022年度に実践した環境活動やSDGs活動を広く紹介し、情報交換や交流の推進を図るために発行しています。

2022年度 全国高校生の環境活動

ほかの高校はどんな環境活動をしているんだろう？
SDGsの活動を始めたい。何か参考になる活動は？

2020年度、2021年度と、新型コロナウイルスの影響を受け、
全国の高校生は環境活動を思うように実践できませんでした。

今年度の2022年度は、まだまだ活動に対する制約もありましたが、
北海道から沖縄まで、日本全国の高校生が熱心に環境活動に取り組んできました。
脱炭素、生物多様性の保全、里山保全、リサイクル、食品ロス、海ゴミ問題、獣害対策、環境と経済、
環境に配慮したものづくりなど、活動のジャンルはさまざま。地域の課題解決に取り組みました。
また、今特に注目をされている「持続可能な開発目標＝SDGs」に関連する環境活動も多く、
全国の高校生が持続可能な未来社会づくりの活動を進めています。

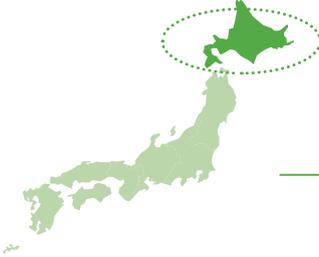
本誌では、全国ユース環境活動発表大会に応募いただいた高校やセミナーに参加してくれた高校など、
全国**115**団体の事例を掲載しています。
ぜひ今後の活動の参考に、また高校同士での情報交換や交流の一助としてご活用ください。

※ P2～P12 活動紹介 掲載例 (上段：高校名 中段：団体名 下段：活動名)
※ 地区別の都道府県は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別で区分しています。

掲載高校一覧

<p>p.2</p> <p>市立札幌開成中等教育学校 北海道大野農業高等学校 北海道土幌高等学校 北海道羽幌高等学校 北海道美幌高等学校 青森県立名久井農業高等学校 青森県立名久井農業高等学校 青森県立名久井農業高等学校 青森県立名久井農業高等学校</p>	<p>p.3</p> <p>青森県立むつ工業高等学校 青森県立三本木農業恵拓高等学校 青森県立五所川原農林高等学校 八戸工業大学第二高等学校 岩手県立花巻農業高等学校 岩手県立遠野緑峰高等学校 岩手県立遠野緑峰高等学校 秋田県立新屋高等学校 秋田県立能代松陽高等学校 秋田県立大館鳳鳴高等学校 秋田県立横手清陵学院高等学校</p>	<p>p.4</p> <p>秋田県立大曲農業高等学校 秋田県立金足農業高等学校 宮城県多賀城高等学校 宮城学院中学校高等学校 宮城県志津川高等学校 宮城県宮城第一高等学校 宮城県宮城第一高等学校 宮城県宮城第一高等学校 宮城県古川黎明高等学校 山形県立米沢興譲館高等学校 山形県立米沢興譲館高等学校 山形県立村山産業高等学校</p>	<p>p.5</p> <p>山形県立山形西高等学校 福島県立福島西高等学校 茨城県立緑岡高等学校 栃木県立矢板東高等学校 栃木県立真岡北陵高等学校 群馬県立尾瀬高等学校 群馬県立藤岡北高等学校 千葉県立安房高等学校 専修大学松戸高等学校 東京都国際高等学校 東京都立府中東高等学校</p>	<p>p.6</p> <p>児華学園中学校高等学校 東京都立南多摩中等教育学校 東京都立国分寺高等学校 静岡県立駿河総合高等学校 静岡県立三島北高等学校 オイスカ浜松国際高等学校 福井県立福井商業高等学校 福井県立大野高等学校 福井県立若狭高等学校 福井県立久平総合技術高等学校</p>	<p>p.7</p> <p>長野県上伊那農業高等学校 岐阜県立八百津高等学校 愛知県立佐屋高等学校 愛知県立半田商業高等学校 福知山成美高等学校 福知山成美高等学校 福知山成美高等学校 福知山成美高等学校 京都府立宮津天橋高等学校 大阪成蹊女子高等学校 大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程</p>
<p>p.8</p> <p>大阪府立豊中高等学校能勢分校 大阪府立長尾高等学校 大阪府立みどり清朋高等学校 大阪府立富田林高等学校 兵庫県立豊岡総合高等学校 兵庫県立伊川谷高等学校 兵庫県立篠山東雲高等学校 兵庫県立播磨農業高等学校 親和女子高等学校 親和女子高等学校 高校生エンシカル推進委員会 奈良育英高等学校</p>	<p>p.9</p> <p>岡山県立笠岡高等学校 岡山県立玉野高等学校 岡山学芸館高等学校 岡山県立岡山一宮高等学校 岡山県立倉敷青陵高等学校 出雲西高等学校 広島県立祇園北高等学校 広島県立祇園北高等学校 山口県立下関西高等学校 山口県立下関西高等学校</p>	<p>p.10</p> <p>山口県立下関西高等学校 香川県立多度津高等学校 徳島県立徳島商業高等学校 愛媛県立長浜高等学校 愛媛県立松山北高等学校 愛媛県立土居高等学校 愛媛大学附属高等学校 愛媛県立小松高等学校</p>	<p>p.11</p> <p>福岡工業大学附属城東高等学校 博多女子高等学校 福岡県公立古賀寛成館高等学校 大分県立大分商業高等学校 大分県立大分工業高等学校 佐賀県立鳥栖商業高等学校 熊本県立熊本農業高等学校 熊本県立宇土高等学校 長崎県立松浦高等学校 長崎県立佐世保西高等学校 長崎県立佐世保西高等学校</p>	<p>p.12</p> <p>長崎県立佐世保西高等学校 長崎県立刈馬高等学校 長崎県立諫早農業高等学校 鹿児島県立霧島高等学校 鹿児島県立屋久島高等学校 鹿児島県立久高高等学校 鹿児島県立久高高等学校 沖縄県立北部農林高等学校</p>	



北海道

5 団体

市立札幌開成中等教育学校

PlaCler

海洋プラスチックの再利用

回収後の海洋プラスチックは埋め立てや焼却で処分されていますが、陸の環境の負担になっているのではと考えました。高校生がこの問題解決の研究をするには課題も多く、試行錯誤の連続ですが、海洋プラスチックの変性・混合やフィルム化を進めています。



北海道大野農業高等学校

ボランティア部・果樹専攻班

北斗市の里地里山の自然を守るために

北斗市には豊かな里地里山の自然が残されています。私たちは、自然について学ぶため、北海道フラワーゾーンに参加したり、農場の自然環境調査や大野川の水質調査を行っています。また、清掃活動や樹名板の作成、植樹祭への参加などにも取り組んでいます。



北海道士幌高等学校

環境班

持続可能な地域環境を目指して ～次の100年へ、地域を守る防風林造成を～

士幌町がある十勝地域は、十勝風と呼ばれる突風の風害から農地を守る防風林の更新が課題。この課題を解決するために、農家への意識調査活動や樹種の違いによる防風林調査活動、地域資源創出活動を実施しています。次の100年を次世代へ引き継ぐためにも。



北海道羽幌高等学校

SBFプロジェクトチーム

羽幌町に飛来する海鳥と今後の課題

私たちプロジェクトチームは羽幌町の海鳥の保護について探求しています。環境省の方々と絶滅危惧種である海鳥の数をどう守り増やせるかを協議し、イベントでの啓発活動に積極的に参加し、多様な生物が共存できる社会に貢献できるように頑張りたいです。



北海道美幌高等学校

環境改善班

オホーツクの自然を守れ! ～世界へ広がる環境改善～

今年度から国内6カ所と国外2カ所での市民参加型マイクロプラスチック調査活動を開始し、美幌と大阪での活動を行いました。また、ウチダザリガニ駆除からザリガニ入り肥料を野菜栽培に利用し、ニホンザリガニなどの在来種保護も並行して行っています。




東北

29 団体

東北地区は、
 「全国ユース環境活動発表大会応募高校」、
 「東北地区 高校生SDGs セミナー参加高校」、
 「環境甲子園応募高校」の環境活動を紹介しています。
 (協力：NPO法人環境会議所東北)

青森県立名久井農業高等学校

環境システム科 草花班

耐用年数を過ぎた太陽光パネル由来の廃棄ガラスの有効利用に関する研究

耐用年数(約30年)を過ぎた太陽光パネル由来の廃棄ガラス「スーパーソル」の有効活用に取り組みました。「スーパーソル」は、多孔質であることや軽量で耐久性があるなど、農業や環境分野へ嬉しい性質が盛り沢山です。農業や環境への貢献を目指しています。



青森県立名久井農業高等学校

環境研究班

美ら海を守れ ～沖縄の赤土流出抑制に挑戦～

沖縄の美ら海が、島尻マージや国頭マージという脆い赤土が降雨で流出し赤く染まっています。私たちは三和土という日本伝統工法で途上国の土壌流出抑制技術を開発。この技術で沖縄の皆さんと試行錯誤を繰り返し、赤土の流出対策に取り組んでいます。



青森県立名久井農業高等学校

ハウレンソウ研究

ハウレンソウの省エネ露天風呂栽培

温度を高め生育を促進する水耕栽培と寒気と糖度を高める寒じめ栽培という矛盾する技術を組合せ水耕栽培でありながら省エネで高機能性ハウレンソウを栽培できる「露天風呂栽培法」を考案した。今後、研究を重ね省エネ時代の新技術として確立していきたい。



青森県立名久井農業高等学校

環境研究班

キャピラリーバリアを利用した節水型塩類集積抑制システムの開発

毛管現象を土壌内に設けた礫層で遮断するキャピラリーバリアという土木工法に着目した。土壌水分を利用して塩類集積の発生を抑制する今までにない節水型システムは、乾燥地や半乾燥地における食糧増産に伴う水不足の解決に大いに貢献できるものである。




青森県立むつ工業高等学校

設備・エネルギー科 地中熱融雪研究班

R4 課題研究 地中熱利用による融雪研究と農業

雪国の宿命である雪処理に関して、生徒視点で改善、探求研究が始まる。地中熱融雪装置のシステムの改善を行う。地中熱利用の将来性を模索しながら、融雪装置改善及びビニールハウス建設で、水耕栽培によるイチゴ栽培に必要な水耕プール、循環用タンク製作の準備を行った。



青森県立三本木農業恵拓高等学校

チーム・COW飼う'S

高オレイン酸ヒマワリ種子の飼料化プロジェクト ～高オレイン酸ヒマワリ栽培で景観改善と飼料生産の両立～

美味しい牛肉生産を目標に掲げ、高オレイン酸ヒマワリ種子の飼料化に向けた研究を行っています。飼料生産と地域の景観改善を目的に、本校牧草地と十和田観光電鉄跡地の間にヒマワリロードの整備を実施、本校OBが経営するファームでも栽培をしました。



青森県立五所川原農林高等学校

6次産業研究室

青森りんごを活用した農業高校フードバンクの運営

活動の目的は、SDGsの「貧困をなくそう」と「つくる責任 つかう責任」です。私たちはりんごを使った農業の6次産業化に取り組み、規格外りんごを保管・提供できるフードバンクを運営し、地域の子供も食堂を支援し、地域福祉の向上につながる活動をしています。



八戸工業大学第二高等学校

BLACK - TAILED GULL GIRLS

八戸・蕪島におけるウミネコの生態研究と保護の在り方

今年は国の天然記念物である「蕪島ウミネコ繁殖地」の指定100年ということもあり、この活動に至った。ウミネコの繁殖生態を主体的に調査し、野生生物の保護や環境保全への理解を深める、蕪島やウミネコを包括的に守るような研究活動を継続していく。



岩手県立花巻農業高等学校

ソーセージ研究班

サスティナブルな地域創生児 ～ホップの抗菌作用を活かした商品開発に関する研究～

北上市の特産物である二子芋の頭芋が毎年3トンも廃棄されている。ソーセージでその有効利用をできないものかと「長期保存」に視点を置き、ホップの穂花の抗菌力を持つとされているルプリンを抽出し製造。36日間の賞味期限をつけフードロスに貢献出来た。



岩手県立遠野緑峰高等学校

生産技術科 野菜・果樹研究班

エゴマの新たな有効活用 ～商品開発から広がる地域貢献～

エゴマ栽培は遠野市の耕作放棄地解消の取り組み。子実はエゴマ油となるが、未利用資源となるエゴマ粉とエゴマ葉がある。エゴマ粉は「遠野エゴマ麺」で普及が実現。エゴマ葉は「漬物製造」に挑戦し、「琴畑カブと三種の豆のしその実エゴマ漬け」を開発した。



岩手県立遠野緑峰高等学校

草花研究班

ハーブの活用に関する研究 ～自然に優しいハーブを活かした暮らしを～

心身の癒しや感染症対策にハーブを活用できないだろうかと考えました。ホップは西洋では、ハーブとして利用されていることから、ホップの穂花もハーブとして活用してみたいと思い、人にも環境にも優しいナメクジ忌避剤を開発してみたいと思いました。



秋田県立新屋高等学校

理科研究部

在来生物の保全と外来生物の有効活用

大森山動物園塩曳淵や本校付近のため池で、在来種調査と外来種駆除を行っています。絶滅危惧種であるゼニタナゴやシナイモツゴ、キタノカヒレタビラなどの在来種の保全に努めています。アメリカザリガニの肥料化に向けた研究にも取り組み始めました。



秋田県立能代松陽高等学校

チーム松陽

自然エネルギー最大活用の研究(雨水による水力発電)

自分たちの身近なところで利用できるエネルギーはないかを検討してみた。太陽光発電の欠点は夜に発電できないこと、曇天・雨天時は発電効率が落ちること。私たちは雨天時に、建物の屋根から落ちる雨水を発電に利用できないかを考え研究に取り組んだ。



秋田県立大館鳳鳴高等学校

化学部

地域森林資源の有効利用 ～秋田白炭の活用に向けての取り組み～

最近復活した「秋田白炭」の利用拡大に向けての活動を開始しました。秋田白炭について調べ、平常時には室内環境浄化剤として備蓄・利用し、非常時に防災燃料として利用します。地域資源の活用、里山再生の観点からも活動を続けていきたいと考えています。



秋田県立横手清陵学院高等学校

ブラウトラウト班

ブラウトラウトによる横手川の生物への影響と利用価値を探る

横手川に生息する在来種の減少において、ブラウトラウトという外来種が影響していることが分かってきた。ブラウトラウト調査を進め、生態や横手川の現状や実態の一部を把握することができ、また食品の利用など利用価値の可能性を見出すことができた。



全国ユース
環境ネットワーク

環境甲子園と全国ユース環境ネットワークは連携し
東北地区の高校生の環境研究・環境活動・SDGs活動を応援しています。

環境甲子園の詳しい情報は・・・

環境甲子園



環境甲子園 主催) NPO法人環境会議所東北 宮城県仙台市泉区上谷3-10-6





秋田県立大曲農業高等学校

果樹部

超人対鳥獣 ー地域資源を活用した忌避資材による果実保護の可能性ー

果樹園がある場所は市の中心部に位置するため、多くのカラスが飛来し、食害を受けている。カラス除けに「硫黄石」に着目し、硫黄成分を持つ「湯ノ花」を硫黄石の代替品として活用した。果樹農家をはじめ、多くの市民に利用され、高い効果を示している。



秋田県立金足農業高等学校

造園緑地科

KANANO SDGs 地域から世界へ ～金農生としてできること～

本校農場の残渣置き場では管理の際に剪定ごみ、つまり廃材が発生します。役割を終えた花や実、不要な枝葉は捨てられてしまうのです。私たちは、廃材も資源として活用できると考え、「環境教育」を普及させる必要があると思ひ活動をしています。



宮城県多賀城高等学校

SS科学部ヤスデ班

マクラギヤスデの生息北限と未知なる生態に迫るPart2

多賀城高校の敷地でマクラギヤスデが発見された。マクラギヤスデの分布は関東以西とされており、これが宮城県におけるはじめての報告となった。生息域調査のため、宮城県内3カ所、岩手県内2カ所、より北方の青森県で生息調査を実施し、採集に成功した。



宮城学院中学校高等学校

自然科学班

サンショウウオ保護プロジェクト

サンショウウオの保護活動を行っています。「トウホクサンショウウオがあぶない」と考え、産卵場所を整備し、自然豊かな環境を作ることを目指して活動しています。耕作放棄地脇の水路やキャンプ場脇の側溝など、地域の方々と協力しながら取り組んでいます。



宮城県志津川高等学校

自然科学部

松原海岸の生物調査

松原海岸は希少な種が生息する生物多様性の高い干潟である。この特別な場所で生物調査をしている。2019年1月、工事の設計ミスから干潟エリアの約3割が埋め立てられた。行政や工事事業者、地元住民、研究者らが話し合い、環境に配慮した設計に改善された。



宮城県宮城第一高等学校

生物部クモ班

蜘蛛糸を未来へ

合成繊維は、強く耐久性があり、現代生活を支えている素材であるが、分解しにくい特性から、生態系に与える影響も問題とされている。そこでタンパク質からできている柔らかく強い素材のクモ糸について、使用可能な天然素材の繊維になるかを実験、調査した。



宮城県宮城第一高等学校

生物部クラゲ班

タマクラゲは再生できるのか ～胃の有無と再生～

タマクラゲは、ムシロガイとの共生や、蛍光タンパク質(GFP様物質)など、さまざまな研究の対象である。今回、ミズクラゲ再生の先行実験をヒントに、タマクラゲの再生について飼育条件、実験手法、サンプル数を見直し実験を行い、その生態を調べた。



宮城県農業高等学校

作物部門

#ZEROマイプラ2

地元の砂浜には稲作で使われるプラスチック肥料の5mm程の残骸が大量にあり、海洋汚染を引き起こしている。プラスチック肥料を使わない栽培法の構築に成功。商品化して通常よりも安くお米を作ることができた。日本のプラスチック肥料をゼロにする活動に繋がった。



宮城県古川黎明高等学校

自然科学部

地熱エネルギーの有効活用へ向けた調査・研究

「地熱資源の有効活用」について調査・学習している。地熱発電には発電コストの低さや環境への負荷の低さなど大きな利点がある一方、日本では資源量の割に普及率が低いという事実を知った。そこで、科学的にアプローチすることから始めて本研究に至った。



山形県立米沢興譲館高等学校

CSS部生物班

山形県の魚類生態系の多様性を護れ!(コイ)

山形県南陽市に位置する白竜湖では、1976年から現在にかけて3種もの在来種魚類が姿を消してしまった。本研究では、コイに焦点を当て、捕獲したコイの形態及び遺伝情報から白竜湖産コイの個体群の系統を調査し、魚類生態系保全の情報源として役立てようと考えた。



山形県立米沢興譲館高等学校

CSS部生物班

山形県の魚類生態系の多様性を護れ!(メダカ)

キタノメダカとミナミメダカの2種の生息域の変化が問題であり、キタノメダカは絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。山形県におけるキタノメダカの生息域マップのアップデートと山形県南部の両メダカの生息域マップを作成して、生息域を把握し、保全に役立てる。



山形県立村山産業高等学校

エンドファイト研究班

エンドファイトを活用したソバ栽培の検討

エンドファイト(微生物)の生育促進効果を、村山市で有名なソバの栽培に利用できないか考え、複数の菌株を用いて生育促進効果の違いを検証した。利用可能な菌株を見つけるため、より多くの環境条件でエンドファイトとソバの共生関係を明らかにしたいと考えている。



山形県立山形西高等学校

放課後実験倶楽部

小学生と一緒に在来メダカで環境学習

市内の小学生に在来種であるキタノメダカを知ってもらう活動を行ってきた。池がある小学校ではキタノメダカを中心としたビオトープづくりに、池などがない小学校ではプラスチック製のコンテナを利用した簡易ビオトープを用いて環境学習を行っている。



福島県立福島西高等学校

科学部

エーテルだけで発電してみた

発電に必要なモーターの駆動を水蒸気ではなく、沸点の低いエーテルを使用することにより、より少ないエネルギーで発電し、排出する二酸化炭素をゼロにすることを目標にした。さらに、小水力発電装置を学校周辺の河川に設置することで発電を実施した。



茨城県立緑岡高等学校

生物部

リサイクルガラス発泡資材を用いた軽量化土壌による小麦の栽培

グリーンインフラの導入をより簡単にする「移動可能な緑地」の実現を目指しています。廃ガラスびんをリサイクルしたガラス発泡資材に着目し、土壌を軽量化する実験を行いました。これからもより軽く、扱いやすい優れた軽量化土壌の研究を続けていきます。



関東
15 団体

栃木県立矢板東高等学校

リベラルアーツ同好会

栃木のサメ食文化を守る ～文化を守る×環境を守る～

栃木県立矢板東高等学校リベラルアーツ同好会では、地域に根ざした活動を行っています。紙芝居の題材については、地域文化の継承と環境保全という観点から、地元に残る海や川に関する民話などを取り上げることで、情報を発信していきたいと考えています。



栃木県立真岡北陵高等学校

食品科学研究部

地域に眠る野菜たち ～野菜の利用価値を高めるために～

地場農産物の活用や地産地消の推進活動を積極的に行ってきました。エシカル消費やSDGsに関連づけた目標設定を行い、野菜摂取の向上に向けた取り組みを地域の方に向けて行いました。また、食品ロスの解消に向けて新しい商品の開発に取り組みしました。



群馬県立尾瀬高等学校

理科部

自然を楽しむ ～自然の魅力で地域をつなぐ～

私たち自身が自然を全力で楽しみながら、地域の様々な人々と自然をつなげていくための活動を行っています。①自然を楽しむ②地域の一員として活動し自然に触れ合う機会や情報を提供すること③イベントを主催して自然体験の場を作ることです。



群馬県立藤岡北高等学校

環境工学部

小川の未来を考える ～地域連携・協働によるヤリタナゴ保護活動～

市の天然記念物であるヤリタナゴの保護活動を地域と連携・協働で実施している。高校のタナゴビオトープで、幼児や小中学生対象に環境教育に活用している。「ヤリタナゴ懇談会」を立ち上げ、啓発活動によりヤリタナゴ知名度は50%以下から80%に向上した。



千葉県立安房高等学校

チーム あわわ

あまも復活への挑戦 with たてやま・海辺の鑑定団

アマモの再生活動(種子の採集、種子の選別、播種・栽培、移植)、パークレンジャー、沖ノ島の環境整備の活動を行っています。活動とあわせて、学校の仲間や団体、行政、大学、企業など地域の方々と力を合わせて活動すると大きな力がうまれることを感じました。



専修大学松戸高等学校

理科部

ミルワームのプラスチックごみ問題解決に向けて

ミルワームは、スタンフォード大学の研究によりプラスチックを分解することが報告されています。現在、ミルワームの生態について「嗅覚による走行」を調査しています。今後は、研究結果を生かし、ミルワームを活用したシステムなども考えていきます。



東京都立国際高等学校

環境科学

国際高校から始めるSDGs

主な活動は、①コンタクトレンズケース回収、②ミスプリントの再利用・削減、③マイボトル推進、④食品ロス自販機導入の企画、⑤購入品の正しい選択を広める。目標は、国際高校の全生徒が地球環境について取組み、この活動を世界の高校へ広げること！



東京都立府中東高等学校

生物部

多摩川に増加する外来植物アレチハナガサが昆虫に与える影響

多摩川の植物の半分以上は外来種。特にアレチハナガサが急激に増加しています。野外調査で、アレチハナガサの増加が昆虫の生息にどのような影響を与えるのか、その一つを明らかにすることができました。今後もアレチハナガサの生態を調べていきます。





晃華学園中学校高等学校

Banana to The Futures

バナナペーパーを普及するためのプロジェクト

バナナペーパーを普及するための活動を行っています。ポスターや動画を作成して文化祭にて展示、企業と連携してバナナペーパーを題材とするSDGs教材を作成等です。また他校との活動発表会に参加したり、小学生向けのワークショップも企画・実施しました。



東京都立南多摩中等教育学校

SDGsミーティング

CO₂CO₂減らそう 食事から

食とSDGsに着目し、環境にやさしい食の発信を行う活動をしています。私たちは購買部と協力して国産小麦を使用したパンを文化祭で販売したり、いま注目されている昆虫食について研究している大学やコオロギスナックを製造している企業に訪問しました。



東京都立国分寺高等学校

生物部・カラスバト班

天然記念物カラスバトを研究と啓蒙で絶滅から救う

カラスバトは、島嶼に生息する準絶滅危惧種・天然記念物の鳥で人前にめったに現れず生態がよく分かっていません。保全には生態解明が不可欠なので、GPSを利用して位置情報や活動のデータを収集し伊豆諸島の島間を移動している事実を発見しました。



静岡県立駿河総合高等学校

US

SDGsの目標達成に向けて ~私たちが暮らしやすい明日を地球希望で考える~

認知症カフェや防災フォーラム、SDGsワークショップなどを行っています。また、主催イベント「高校生と学ぶSDGs」を開催し、企画・運営・資金集めを全て行いました。高校生や大学生と関わりを広げ、高校生だからこそこの視点でSDGsの目標達成に貢献していきます。



静岡県立三島北高等学校

STEM 植物班

廃棄食材を利用した肥料作り

食料廃棄物を肥料として再利用することで、食料を安定して生産することができ、飢餓をゼロにすることにつながると考え研究を進めてきました。ミカンなどの柑橘類の皮を肥料として用いて、ミニトマトとナスの成長への影響を比較する実験を行いました。



オイスカ浜松国際高等学校

環境SDGsプロジェクト

地域参画型Eco-DRR 浜と松プロジェクト

砂丘侵食問題は、住民生活をおびやかす下流地域だけでは解決できない問題です。私たちは継続的に防潮堤工事の影響による生態系の調査、中田島砂丘に関わる環境活動に取り組んでいます。また市木「松」の松枯れ問題にも注視し、生育調査を行っています。





中 部

9 団 体

福井県立福井商業高等学校

悩めるJRC部

海岸清掃をしていたらプラスチックごみの多さに嫌気がして「脱プラスチック活動を始めました！」

坂井市の三国サンセットビーチの海岸清掃を行っています。冬には国外からのプラスチックゴミが大変多いこと、回収したペットボトルの45%のラベルが剥がれていることから、脱プラスチック活動、ラベルレスペットボトル利用促進活動を進めています。



福井県立大野高等学校

JRC「結」

ふるさとの水と繊維をシェアしたい ~「結」の心で地域を結ぶ~

①大野市とCarrying Water Projectで東ティモールへ水設備の支援。②校内で「古着おすそわけプロジェクト」でパキスタンへ教育支援、エコキャップ回収運動、被災地への義援金・救済金チャリティー。③校内ジェンダー平等運動、オレンジリボン運動などを行っています。



福井県立若狭高等学校

箸プラ

海洋プラスチックごみが激変! ~箸に姿を変えて現状を伝える~

回収した海洋プラスチックを地元の特産物である若狭塗箸に活用して商品化することに取り組んでいる。身近なお箸を通じて多くの人に海洋プラスチック問題について知ってもらい、一人一人が自分のできることを行うことで、この問題が解決することを期待する。



福井県立若狭高等学校

魚の鱗探究チーム

魚の鱗の再利用 ~鱗を用いた肥料の作成~

廃棄物となる魚の鱗を再利用してその廃棄量を削減することで、焼却処分の際に発生する二酸化炭素の発生を抑えることを目標としている。鱗を使った肥料の実験や、肥料に適した鱗の条件等の調査活動を、今後はデータの数を増やしながらか実施する予定である。



長野県佐久平総合技術高等学校

チームさくさけ

カスを価値に! ~未来へ佐久酒粕プロジェクト~

佐久市は「酒の郷」とも呼ばれています。日本酒造りの副産物として出る酒粕の需要が低迷し、一部が廃棄されている課題を知りました。今年度は、地元ラーメン店とコラボして酒粕を使ったラーメンを開発。「佐久ラーメン甲子園」で優勝する1杯が完成!




長野県上伊那農業高等学校

昆虫班

持続可能な河川生態の保全と利用を目指して ～伊那谷の伝統食「ざざ虫」を未来へつなぐ～

「ざざ虫」とは天竜川に生息する水生昆虫を食べる文化である。しかし、近年の漁師の減少や河川環境の変化に伴う水生昆虫の減少など、ざざ虫の継承には課題がある。この活動により産学官民が連携することで、新たな生物多様性の保全と利用が実現した。



岐阜県立八百津高等学校

自然科学部・SDGs班

アメリカザリガニから学ぶSDGsⅡ

学校近くのため池の水とそこに生息するアメリカザリガニの消化器官からマイクロプラスチック(MPs)を発見し素材も明らかにすることができた。ため池のMPsは、ポリスチレン(食品トレイや発泡スチロール)、アメリカザリガニのMPsは繊維状のPETであった。



愛知県立佐屋高等学校

科学部

愛知県愛西市内用水路に生きるカメ類

水田や用水路に生息する生き物を調査しています。活動中、水路に多くのカメ類が生息していることが判明し、その大半が外来種のアカミミガメでした。カメの甲羅に小型カメラを取り付け、水路やため池に放し、どのようにカメが行動するのか追いかけてきました。



愛知県立半田商業高等学校

Total Progress

地球の救世主!? エシカルな食材「コオロギ」で未来の地球を考えよう!

牛や豚に代わる新たな食材「コオロギ」を、地元を中心に多くの方々に伝えるために活動しています。私たちは実際にコオロギを飼育し、環境的利点について学びました。コオロギクッキーやコオロギマドレーヌの開発および販売実習などを実施しています。



福知山成美高等学校

GO!YA!

食品ロスゼロで世界を平和に

私たちは地域の食品ロスを減らすための取り組みをしています。現状として、賞味期限と消費期限の違いを正しく知らない消費者も多く、正しく知ってもらえるポスターの作成と賞味・消費期限の近い商品の購入を促すシールの作成の取り組みを行っています。



福知山成美高等学校

Kimくん

フードロス削減

私たちはフードロスを削減するために地域の方や高校生の意識を変える活動を進めています。賞味・消費期限への正しい理解が低いため、フードロス削減をテーマにしたポスター作成と正しい知識の定着を目的とした簡易テストの作成に取り組んでいます。



福知山成美高等学校

チーズティーム

若者と共に福知山を潤そう!

私たちはシャッター街が進んでいる市内の商店街をより活性化させ、若者に商店街に訪れてもらうことを目標に活動を行なっています。商店街の魅力を伝える商店街マップを作成しました。今後は、クリーン大作戦、イベントの開催などを考えています。



福知山成美高等学校

SWIMMER

漫画で脱☆男女差別

私たちは中高生に男女差別についての意識を持ってもらい、差別を減らすための取り組みを行っています。主にSNS上に男女差別について考える漫画を掲載し、内容はアンケートで募集した実際の学生のエピソードを基にしています。英語版も同時に掲載しています。



京都府立宮津天橋高等学校

タンポポ発信隊

足元の小さな花が教えてくれたこと ～里の春を彩るタンポポ～

地域の歴史や自然に関わり、新たな価値を創造する部活動です。タンポポは春を彩る花。中でも、日本に古くからある在来タンポポに着目しました。実際に丹後を巡って調査した結果、レッドリストに載っている希少種も含め7種の在来タンポポを発見しました。



大阪成蹊女子高等学校

生徒会執行部

SDGs=Seikei Dream Ginormous ～成蹊の夢はめっちゃデカイ!～

ペットボトルキャップやコンタクトレンズの空ケース回収等の環境関連の活動に長年取り組んでいます。また、卒業時に学校指定シューズ等を集めてフィリピンの子どもたちに送る活動、文具や衣服等をミャンマーの子どもたちに届ける活動にも取り組みました。



大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程

エコ・プロジェクト部

脱炭素! 地球温暖化防止プロジェクト

太陽光発電に取り組み、パイオディーゼル発電機との組合せで、環境イベントなどで電気の供給をしています。海水や河川やプールの水などを飲料水に出来る浄水(造水)装置も、プラスチックゴミで作った油や天ぷら油で稼働出来るように改良しました。





大阪府立豊中高等学校能勢分校

チームSATOYAMA

E-bikeプロジェクト ～めざせ！ZEROカーボンスクール～

テーマは「E-bikeプロジェクトによりZEROカーボンスクールをめざす」。E-bike(電動アシスト自転車)で、能勢町のような交通不便地における交通問題と環境問題を考えるプロジェクトです。また、ゼロカーボンを考え、学校にリユースのソーラーパネルを設置しました。



大阪府立長尾高等学校

理科学研究部 マイクロスケール実験開発チーム

マイクロスケール実験の開発

マイクロスケール実験は教科書の実験よりも使う薬品量などが少なく、廃液等も減らせる。本実験を開発できれば、4人の班で実施していた実験が2人の班や個人で可能になる。これらの成果は、実験開発が生徒の能力と未来への可能性をひろげてくれる。



大阪府立みどり清朋高等学校

地域貢献部

地域から世界へアドプト・リバー・プログラム

地域の川で清掃・生態調査を行い、大阪府が行う「アドプト・リバー・プログラム」に高校として参加しています。私たちの活動を通じて地域住民が地域の自然(川)を大事にするきっかけをつくるために、今後は情報発信の機会を増やしていきたいです。



大阪府立富田林高等学校

水質班

河川自然浄化と水流との関係について

現在私たちが戻した水が流れる一部の河川では水が濁るなど水質が悪化しています。私たちは河川を本来のきれいな姿に取り戻したいと思い、河川の「自然浄化」という現象に着目して、自然浄化には何が関係しているのかを明らかにする活動を行っています。



兵庫県立豊岡総合高等学校

インターアクトクラブ

海とわたしたち

被災地支援、地域交流、米・野菜・花づくり、外国人との交流など様々な活動をしています。海岸漂着物回収活動は特に力を入れています。回収された海岸漂着物の中で漁業の網をカバンの材料、漂着ブイをプランターなどにアップサイクルをしています。



兵庫県立伊川谷高等学校

ボランティア部

人形劇で伝えるSDGs ～地域の子どもたちとともに考える未来～

子どもたちに人形劇でSDGsを伝える活動を行っています。最初の作品はフードロスがテーマ。次の作品はイカナゴの漁獲量減少の記事を参考に海の生態系を浦島太郎風にとまとめました。ゲームやクイズを交えて近隣の学童、児童館、図書館などで公演しています。



兵庫県立篠山東雲高等学校

自然科学部

篠山城堀の生物調査

篠山城の堀には外来生物が多く生息し生物多様性が失われています。私たちは外来生物の駆除活動を行ってきました。3年間でウシガエルやブルーギル、アメリカザリガニを多く駆除し、当初あまり見られなかった在来種のモツゴが見られるようになりました。



兵庫県立播磨農業高等学校

オオヤマジソ班

オオヤマジソの持続可能な保全に向けた商品開発

オオヤマジソという希少な植物の保護活動に取り組んでいます。ただ保護するだけでなく活用方法も検討。清潔感のある香りを持つ日本原産のハーブであるため、企業に持ち込み、オオヤマジソのハンドクリーム、化粧品、美容液を製造することができました。



親和女子高等学校

探究15班

プロジェクトC ～私達に出来ること～

私達はコンポストが社会に浸透して生ゴミの減量に繋がることを望んでいます。コンポストを利用する事は、買い物からエコについて考える機会にもなります。第一歩として、ダンボールコンポストを複数の方法で試し、楽しさ、意義を伝えようと思います。



親和女子高等学校

MASK

環境に良いマスク

私たちは環境に良いマスクを作っています。これについて考えようと思ったきっかけは、道に落ちてしまっても環境に悪くないマスクを作ろうと思ったからです。水に溶けるものでマスクを作れないかと思い、和紙や半紙などでマスクを作ってみようと思いました。



高校生エシカル推進委員会

気候変動×楽しさ ～私たちが行動する意味～

気候変動の影響を一番受けるのは私たちの世代なので、私たちが中心となりイベントの企画や小中学校への講演会活動、ブース出展などを考え行動しています。また、環境漫才や環境ラップ、環境ソング、コスプレなど楽しさや面白さを加えた啓発を行っています。



奈良育英高等学校

生徒会・ユネスコ委員会

環境問題は深いい ぱーと2

ウニの養殖と、自分たちで実際に育てるコットン栽培の活動をしています。また、ボルネオ島の森林伐採について考える活動にも取り組んでいます。アブラヤシのプランテーションの影響で住処を失っている動植物の現状を現地の方と交流して調査をしています。





中国

12 団体

岡山県立笠岡高等学校

サイエンス部

未来を切り拓く！ ～豊かな海を守るため今、私達ができること～

カブトガニ博物館の協力で干潟の調査、干潟に流れ込む河川調査、マイクロプラスチック調査に取り組んでいる。また、「捨てなくなるごみ箱」の開発、小学生と笠岡湾を考えるワークショップを行った。「ゴミ」は「資源」など考え方にも大きな変化があった。

岡山県立玉野高等学校

海ごみ再利用研究チーム

海ごみとして回収された発泡ポリスチレンを固体燃料に用いたハイブリッドロケットの開発

海ごみの発泡ポリスチレンを固体燃料にしたハイブリッドロケットの開発に取り組んでいます。ペットボトル、空き缶、医療用酸素ガス、海ごみとして回収した発泡ポリスチレンを使ったロケットの打上げに成功していて、必要な条件について研究しています。

岡山学芸館高等学校

結

アマモ実生本葉展開条件の研究 ～大人になれなかったもやし達～

里海の聖地である岡山県備前市日生町で、アマモ場再生活動に取り組み、生物多様性への影響を間接的に確認した。本年度は、発芽したアマモの半数が徒長して本葉が出なかった課題を解決するため、本葉展開しなかった要因の究明に取り組んでいる。

岡山県立岡山一宮高等学校

ユネスコ部

ドギーバッグ フードロス削減への鍵

食料問題に着目しフードロス削減にテーマを絞って活動をしています。もし食べられなかった時にはぜひ持ち帰り用の袋「ドギーバッグ」を使ってください。ドギーバッグは自作でき、作ることでフードロス削減への意識を高めていく効果も期待できます。

岡山県立岡山一宮高等学校

チーム階段

高校のユニバーサルデザイン化への取り組み

「みんなに優しい学校づくり」をテーマにユニバーサルデザイン化に取り組みました。多くの公立高校は災害時の避難場所にもなっています。学校をどんな人でも過ごしやすい場所にするためにアンケートや聞き取り調査を行い現状を把握し要望をまとめました。

岡山県立倉敷青陵高等学校

生徒会執行部

SDGs達成・地域協力・地元企業連携 ～「今」私達ができること～

SDGsの達成・地域協力/地域活性化・地元企業連携を目標に活動しています。青陵ピカピカ大作戦や木製SDGsバッチの配布がの活動に加え、コンタクトレンズ空ケースのリサイクル運動で企業とも連携。倉敷市・高梁川流域SDGsパートナー制度に登録もしました。

出雲西高等学校

インターアクトクラブ

出雲西高発!!「水環境改善プロジェクト」

①日本海岸清掃を年間5回、44年間続けている。②韓国の高校生と国際交流し、ごみの問題を話し、ごみの問題を訴えている。③神戸川の清掃、水質、生物調査を行った。④川、池、湖の浄化のため微生物BKIを使い浄化に努力した。⑤森林の再生を試みた。

広島県立祇園北高等学校

理数コース

祇園北高校における環境活動の効率化

GLOBE活動や河川ごみの研究、生態系保全の研究やリサイクル活動など、多様な活動をいろんなチームが行っています。ただし、なかなか知れ渡らないことが課題であると考え、今年度はあらゆる環境活動をまとめ、効率化を図り、発信も積極的に行っています。

広島県立祇園北高等学校

科学研究部

本校がモリアオガエルの保護区になることを目指して

校内に生息する生物同定を行い、図鑑を作成している。モリアオガエルが本校でも生息していることが確認でき、今年度もモリアオガエルの観測に成功した。校内環境や飼育環境を整備することにより、校内で「防災」と「生態系保全」の両立を図っていきたい。

山口県立下関西高等学校

化学2班

カイロを変える!!

冬に多くの方が使うカイロ。学校で毎日大量に出るチョークの粉。私たちはこの二つに注目し、新しいカイロを作ることによってSDGsに貢献できると考えました。カイロの活性炭をチョークの粉に変えて実験を行い、チョークは活性炭の代わりになることを立証しました。

山口県立下関西高等学校

公民班

下関市風力発電導入大作戦 ～脱炭素社会の実現に向けて～

風力発電導入で地域住民の同意を得るための探究をしています。脱炭素社会の実現に貢献することが目標です。風力発電建設の反対運動に参加された市議会議員の方にインタビューをし、住民の反対理由やコスト面、国防問題をもとに考えることができました。



山口県立下関西高等学校

化学1班 悪臭撲滅委員会

大気汚染、特に悪臭問題の解決に着目しました。環境に優しく人体に悪影響を及ぼさない物質の竹酢液を使って消臭を行い、その効果について研究しています。これまでの研究では、対象物としたアンモニアを確実に消臭することを確かめることができました。




四 国

7 団 体

香川県立多度津高等学校

建築科 木を生かし、森を守る ～地元の木材を使った、私たちの取り組み～

県産ヒノキを中心に使用した公園の休憩小屋建設を始め、瀬戸内国際芸術祭で使用するベンチの製作、カンナで薄く削って制作する【木の花】ワークショップなど、地元へ貢献できる活動を行っています。SDGsの観点からさらに活動の幅を広げていきます。



徳島県立徳島商業高等学校

校内模擬会社ComCom 未来につながる環境ビジネス ～教育DXで持続可能な社会の実現～

環境ビジネスの発展と持続可能な社会の実現を目標に活動を進めています。限界集落である上勝町の「環境ビジネス」を広めるため、PR動画制作を行いました。今後は大阪・関西万博に参画し、活動をさらに拡大するため、未来の世代に引き継いでいきます。



愛媛県立長浜高等学校

チーム530 カワイのぼり旗でゴミを減らそう！えひめゴミ0プロジェクト

私たちは、捨てられるゴミを減らすことを目標に活動しています。本校をモチーフにした漫画の主人公をのぼり旗にデザインし公園に立てることで、捨てられるゴミの量を劇的に減らすことに成功。自主的な美化活動が始まるなど、活動の輪が広がっています。



愛媛県立松山北高等学校

愛顔グローバル部愛Landまつやま(興居島VT) 愛顔グローバル部愛Landまつやま環境保全プロジェクト

興居島民と協働した「地域活性化」活動がスタートし、「ごごしま検定」や「興居島カレンダー」を作成してきました。「環境保全活動」へと発展し、忽那諸島全体での継続的な海岸清掃活動や、松山市のイベントなどでの環境啓発活動にも力を入れています。



愛媛県立土居高等学校

情報科学部・ビジネスコース 盆栽のユネスコ世界遺産登録を目指す街づくり ～環境保全と地域創生の両立～

四国中央市は五葉松の日本三大原産地の一つ。地域資源の盆栽を生かしたユネスコ世界遺産登録を目指す街づくりを提案し、シビック・プライドの醸成と地域人材の育成に取り組んでいます。盆栽文化と赤石山系の植生を含めて取り組んでいきます。



愛媛大学附属高等学校

理科部プラガールズ 瀬戸内海のマイクロプラスチック汚染の実態と対策に向けた啓発活動

プラスチックを上手に使う生活を続けながら海の環境も守っていただける未来を目指して活動しています。瀬戸内海は地元の産業系プラスチック汚染が深刻で、海洋生分解性プラスチックの開発・普及が必要。そのための調査と研究、情報発信や啓発を進めています。



愛媛県立小松高等学校

YST なぜば成る ～エコの神髄ここにあり！～

竹林整備&生ゴミの堆肥化システムの確立を目指しました。住みたい田舎ランキングNo.1にふさわしい町にするための「ごみの減量化作戦」でした。安心して暮らせる環境に優しい取り組みを行いながら、循環型社会の実現に向けて力強い一歩を踏み出しました。



愛媛大学附属高等学校 → **愛媛県立長浜高等学校**
発表を聞くたびに新しいこと・進化したことを行われていて本当にすごいと思います。後輩への引き継ぎまでしっかりと行われていて、今後の発展も楽しみです。お互い頑張りましょう！

愛媛大学附属高等学校 → **愛媛県立小松高等学校**
目標を立てて、エコ活動に取り組んでいて良いと思った。自分たちも次世代を担う人なのでこれからも活動を頑張ってください。

岡山県立岡山一宮高等学校 → **岡山県立倉敷青陵高等学校**
生徒会が主体となって、SDGsの活動ができていることがすごいと思います。ぜひそのまま活動してってください。また、機会があれば一緒に何かしたいです。

高校生応援メッセージ

全国ユース環境活動発表大会・地方大会で寄せられた高校生たちの声をご紹介します。高校生から高校生への応援メッセージです。

岡山県立笠岡高等学校 → **岡山学芸館高等学校**
アマモの培養の失敗をしっかりと分析して、次につなげるような研究を行っていてとても素晴らしいと思いました。今後の活動も楽しみにしています。頑張ってください。

愛媛県立長浜高等学校 → **徳島県立徳島商業高等学校**
地域のことをよく見ていると思いました。本当に地域のことを考えて問題に取り組み、実際に行った活動を動画にするというのは本当にすごいことだと思いました。これからも活動の継続を頑張ってください。

山口県下関西高等学校 → **出雲西高等学校**
幼稚園児や小学生、地域の人と協力して活動しているのがとても良いと思いました。今までは他人を巻き込むのはハードルが高いと思っていましたが、発表をお聞きして、少しずつできることからしていきたいと感じました。これからも応援しています。

愛媛県立松山北高等学校 → **香川県立多度津高等学校**
建築といった専門性の高い視点から環境活動に取り組んでいて、すごく面白いなと感じました。また、積極的に様々な活動をしていることが動画を通して分かり、もっと知りたいなと思いました。これからもお互い頑張りましょう。

広島県立祇園北高等学校 → **岡山県立岡山一宮高等学校**
私はユニバーサルデザインについて考えるワークショップや交流会に参加しました。その時に私が感じたことや学べたことに、自身の研究だけでたどり着いていて、すごいと思いました。





九州・沖縄

19 団体

博多女子高等学校

地域共創部

糸島の牡蠣をカッキづけよう!

新型コロナウイルスの影響で牡蠣が大量に余り、また多くの牡蠣殻が排出されている現状を知りました。私たちは余った牡蠣を加工して牡蠣みその販売促進を行いフードロス削減に貢献しました。牡蠣殻の肥料を家庭で作れることを広めることができました。



大分県立大分商業高等学校

商業調査部

食品ロスさせない連携 ～規格外トマトを活用した商品開発～

廃棄されてしまう規格外トマトを活用した商品開発に挑戦し、オリジナル商品「とまドレ・とまソース・とまみそ」を開発。ごみが商品として生まれ変わる「食品リサイクルループ」を実現した商品で、未来の地球環境を、みなさんと一緒に創る商品でもあります。



佐賀県立鳥栖商業高等学校

鳥栖クローバープロジェクト・流通経済科

自然環境の保全とサステナビリティな社会構築にむけて地域課題への取組

地域の企業とコラボしたオリジナルのパンやアイスクリームの新商品開発、「はぜろう」という伝統的な工業製品の新品を考えるなど、活動範囲は多岐にわたります。鳥栖市の北、基山町の皆さんとともに取り組む環境保全と商品開発に関する研究をしています。



熊本県立宇土高等学校

不知火探検隊

不知火(しらぬい)のことを知ってるかい? ～不知火研究から見た環境変化～

不知火の観測や実験を行い、様々な環境が変化していることが分かってきました。不知火のような美しい現象が環境問題で失われるのは大変寂しく、これ以上悪化させてはならないという強い思いで、今後も研究や発表を行い積極的に広報活動を続けていきます。



長崎県立佐世保西高等学校

佐世保西24班

カラスとの共生に向けて

身近にいて、地域で実際にゴミ荒らしの原因になっているカラスに着目しました。市役所などに電話でカラスについての情報を収集し、フィールドワークを行い周辺地域のゴミ捨て場の状況を調べ、ポスターを制作しました。今後はその効果を見ていきたいです。



福岡工業大学附属城東高等学校

科学部 生物班

博多湾におけるアマモのより良い移植法の検討

竹割りばしと麻ひもを用いて「博多湾方式」でのアマモの移植を行っています。移植後、実際にアマモの成長を観察していくうちにアマモが定着し、自分たちの活動が環境保全に繋がっているとうれしくなりました。これからも海を環境をより良くしていきます。



福岡県公立古賀竟成館高等学校

家庭クラブ

SDGs 万華鏡"KAGUYA" プロジェクト

山側と海側の小学校と連携して、山の問題である竹と海の問題でシーグラスを使って、児童一人ひとり万華鏡を作成します。万華鏡を通して「少し動けば景色が変わる」SDGsの目標達成だけでなく、どんな困難も自分が動き始めると状況は変わると伝えたい。



大分県立大分工業高等学校

DAIKO水車プロジェクトチーム

脱炭素を図りながら、再生可能エネルギーで、通学路の夜道を照らす取り組み

「通学路の夜道で女子高生が襲われた」というショッキングなニュースが飛び込んできた。現地には水力発電に適した川があり、メンバーは水車で発電し防犯灯を照らすことを思いつく。放課後や休日などを利用して水車を製作。特許申請中の技術も生まれている。



熊本県立熊本農業高等学校

養豚プロジェクト

廃棄豚脂の有効活用に関する研究 ～養豚業におけるゼロエミッションへの挑戦～

本校で豚肉の豚脂を廃棄していることに気づき、廃棄豚脂の有効活用を図り廃棄ゼロを目指しました。挑戦の結果、市販に比べ1.7倍洗浄力が高い洗濯用石鹸が出来上がりました。養豚業におけるゼロエミッションを達成し、持続可能な生活を実現させたいです。



長崎県立松浦高等学校

まつナビ8班

SASTAINABLE×松浦

持続可能な松浦市を作るために、環境に配慮した方法で廃油を処理できないかと考え、地元企業の協力のもとアジフライ型の廃油石鹸を試作品として製作しました。この活動とおして多くの人が家庭での廃油の処理を見直すきっかけになることを目指しています。



長崎県立佐世保西高等学校

H&M

ランドセルリメイク

ゴミを減らすためにランドセルをリユースする。きっかけは班員が家族とランドセルの処分について話したことです。使わないからゴミだと思っていたが素材の味を生かしてリメイクすれば別のものとして使うことができると知り、SDGsを身近に感じることができました。





長崎県立佐世保西高等学校

5K 脱プラ作戦

活動のテーマは、脱プラスチックの推進です。紙製品を取り扱う企業にお願いして紙製のスプーンをサンプルとしていただき、地元のスイーツ店にお渡しするなど、プラスチック製品を紙製品に変えることを目的とした活動をこれからも続けていきます。



長崎県立対馬高等学校

ユネスコスクール部 「国境の島・対馬」からの挑戦!

ツシマウラボシジミという対馬固有亜種のチョウの保護に取り組んでいる。島内の中学生と協力して幼虫の食草約200株を国有林の保護区へ植栽した。海岸清掃活動にも取り組んでいる。自分たちで海岸清掃の企画・運営を行い、見事成功を取ることができた。



長崎県立諫早農業高等学校

食品科学部 自然環境改善をめざした継続的取り組み ～放置竹林の再利用と普及～

放置竹林を再利用するため研究活動をはじめた。成果として、きのこの菌床に竹パウダーを使うと一般的な米ぬかと比較して生育速度が増加しコンタミの発生も少ないことを発見した。現在、全国各地の農園や事業所での試験栽培が開始され事業化が進んでいる。



長崎県立諫早農業高等学校

諫農生物工学部 フードロスニュートラル活動でつないだ離島の想い ～食品ロス0なサステナブル社会を目指して～

対馬市より食品残渣活用について依頼を受け、実証実験を約2年間行った。食品残渣堆肥は環境保護啓発のため回収活動に協力した家庭に無料で配布されている。また対馬地鶏生産拡大を目指し「エコフィード」としての活用実験では十分な嗜好性が確認された。



鹿児島県立霧島高等学校

ESD研究班 浮かぶボールの工作体験提供

小中学校などで工作体験を提供。科学技術の進展には多様な学びと経験が必要で学びの動機につながる。リサイクルを含めて処理や廃棄されるものは環境への負荷をかけている。ワンウェイプラスチック製品の見直しやコストバランスを考えるきっかけにしたい。



鹿児島県立屋久島高等学校

屋久高発！屋久島お助け隊！ GO新地域循環型経済社会へ ～食品廃棄物ビジネスの創出とSDGs啓発イベント実施への取組～

私たちは地域の各事業所がコロナ禍による顧客の減少で食品廃棄物の増加が深刻になっている状況や、手前から商品を取る顧客が少ないことが廃棄量を増やしている現状を知りました。この課題解決に向けてイベントを開催し、活動に取り組みました。



鹿児島情報高等学校

トビタテ18期生 e-prepから世界へ！SDGsやってみっが

文化祭でシーグラスを用いた作品を制作・販売し、その売上金と当日の募金活動で集めた募金を環境団体に寄付した。海でシーグラスを拾い、自ら制作・販売をすることで、現在の海の環境問題に気づき世界が抱えるSDGsの問題について考えを深めることができた。



沖縄県立北部農林高等学校

エコ部 日本の春はここから始まる！北濃桜プロジェクト

ヤンバルの緑豊かな森を、濃いピンク色に染め、新春を知らせる花が寒緋桜です。日本で一番早く開花し、新春を知らせる沖縄の桜ですが、近年立ち枯れや老木が目立ちます。産学官一体となり、沖縄の桜を守るさくらプロジェクトを立ち上げ取り組んでいます。



高校生応援メッセージ 全国ユース環境活動発表大会・地方大会で寄せられた高校生の声をご紹介します。高校生から高校生への応援メッセージです。

- 福岡工業大学附属城東高等学校** → **熊本県立宇土高等学校**
 不知火という面白いものを知れてよかった。これからも不知火の観測を続けて謎の解明をしていってほしいです。
- 福岡工業大学附属城東高等学校** → **博多女子高等学校**
 カキがそんなに多く焼却されてしまっていると初めて知りました。パッケージを変更したことでやはり目につくものだと感じました。九州しょうゆパター一味がとても気になります。身近に販売されていると知れたので機会があれば購入してみたいと思います。作り方を紙芝居でされていてとても分かりやすかったです。これからも糸島について頑張ってください。素晴らしい発表ありがとうございました。
- 佐賀県立鳥栖商業高等学校** → **長崎県立諫早農業高等学校**
 私たちも取り組んでいる竹について研究されていて、とても素晴らしいと思いました。竹を使って何かを開発することは少し難しいですがこれからも頑張っていきたいと思えます。
- 熊本県立熊本農業高等学校** → **沖縄県立北部農林高等学校**
 中学校などのこれからの社会を作っていく世代の人たちにも活動を呼びかけており、とても活動していく中で参考になりました。私たちが現状を知ってもらうことが重要だと考えているため、これからも多くの人に発信して大きな力をつくっていきましょう！

- 長崎県立対馬高等学校** → **古賀竟成館高等学校**
 海洋ゴミ問題についてSDGs交流学習をしている点ではぜひうちの学校でもやりたいなと思いました。
- 長崎県立諫早農業高等学校** → **長崎県立対馬高等学校**
 地域の人と協力し、ゴミ拾いをして海をきれいにしていて、こちらも気持ちいい気持ちになりました。また、日韓での活動もあり自然環境問題だけでなく、国との関わりをもち、協力していることも素晴らしいと思いました。これからも頑張ってください。
- 鹿児島県立屋久島高等学校** → **大分県立大分工業高等学校**
 ニュースの事件に興味を持ち、自分達にできることを考えて実践にうつっており、行動力が素晴らしいと思った。
- 大分県立大分商業高等学校** → **大分県立大分工業高等学校**
 自分が商業なので工業の視点というのがすごいなと思いました。
- 熊本県立宇土高等学校** → **大分県立大分工業高等学校**
 当たり前のように発明し、特許を取るのがすごかったです。面白い発表でした。
- 熊本県立熊本農業高等学校** → **博多女子高等学校**
 地域の資源をどうにかしたい、という迫り及する姿勢がすごい。



全国大学生環境活動団体SDGsミーティングを開催しました。

全国の大学で、たくさんのサークルや団体が環境活動を実践しています。

全国ユース環境ネットワークでは、全国大学生環境活動コンテスト実行委員会の協力をいただき、2022年度に2回、「全国大学生環境活動団体SDGsミーティング」を実施しました。

このミーティングは、全国の大学生の環境活動団体を対象に、①大学生同士による交流実施 ②環境団体の課題を共有 ③今後実施したい活動の意見交換などをテーマに実施しています。

2022年8月 全国大学生環境活動団体SDGsミーティング



● 参加団体

- ◆ 北見工業大学 北見工業大学環境保全学生委員会(KITeco)
- ◆ 芝浦工業大学 石垣島をもっと元気にするプロジェクト
- ◆ 芝浦工業大学 SDGs 学生委員会-綾いと-
- ◆ 国際基督教大学 ICU SUSTENA
- ◆ 公立鳥取環境大学 学生EMS委員会
- ◆ 長崎大学 ながさき海援隊



オンライン&リアル開催

日程 2022年8月6日(土) 14:00~16:00

会場 東京都新宿区 会議室

主催 独立行政法人環境再生保全機構全国ユース環境ネットワーク事務局

共催 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会



● ミーティング内容

〈ワークショップI〉～持続可能な社会と何か～

〈ワークショップII〉～全国の大学生環境活動団体が連携することでできる活動は?～

参加大学生の意見 (抜粋)

- ◆ 新型コロナウイルス感染症が流行してからは、罹患を恐れ、感染症を自分事と意識し、マスクの着用が習慣した。同じように、環境問題やSDGsも自分事になれば、それが習慣化し、持続可能性へとつながる。
- ◆ SDGsは2030年の目標ではあるが、大切なのはその過程である。SDGsの考え方が習慣化できれば、それが成果となる。取り組むことへのメリットが必要で、個人だけでなく、企業としても環境問題を自分事として捉えることが重要だと思う。
- ◆ 「環境」という言葉は親しみがもてず、とっつきにくい印象がある。そこで、親しみを持ちやすい活動として、全国の環境活動団体で同じ日時に一斉ごみ拾いをしてはどうか。「環境×楽しさ」をモットーに、学生や企業、地域住民等を巻き込んで、楽しみながらごみ拾いができるといい。
- ◆ 北から南へ実際に「バトン」を渡しながら、リレー形式で清掃活動を実施してはどうか。
- ◆ 日常生活でのエコバックの活用など、一人ひとりの環境に配慮した行動が当たり前になることが持続可能につながると思う。また、自然を愛する思いを持つことも大切だと思う。
- ◆ 一人ひとりが持続可能な社会について考えることが大切だと思う。自覚することで、持続可能な考えが根付いていく。
- ◆ 今ではリサイクルされるようになったペットボトル。そういったことを、一人ひとりが自覚し、根付かせていくことが、大学生の環境活動団体の役割であると感じた。
- ◆ 各大学でペットボトルのラベルを集めてアート作品を作るという意見が出た。大学生がどれ程のペットボトルを使用しているか、関心を集めて認識してもらう機会になる。
- ◆ 各団体の活動をSDGsのゴールに当てはめてはどうかという意見も出た。可視化して一覧で大学生の環境活動団体をまとめられると面白いと思う。



エココンの紹介 ～全国大学生環境活動コンテスト (エココン) とは～

大学生の環境活動の活性化を通じた持続可能な社会の実現を目指し、学生ネットワークの形成、座談会(交流会)の実施、年に1度の全国大学生環境活動コンテスト(通称:ecocon)を行っています。ecoconは2003年より毎年開催しており、第18回までにのべ700団体以上、総勢1万人以上が参加するなど、学生の環境活動の中での役割を確立しています。

エココンの連絡先

全国大学生環境活動コンテスト(エココン)実行委員会 tel: 03-5402-5355
mail: support@ecocon.info (株式会社ダイナックス都市環境研究所内)



2022年11月 全国大学生環境活動団体SDGsミーティング

- 日程** 2022年11月19日(土) 14:00~16:00
- 会場** オンライン開催
- 主催** 独立行政法人環境再生保全機構 全国ユース環境ネットワーク
- 共催** 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会事務局



参加団体紹介

▶ キタサンショウウオ研究会 (東京農業大学 北海道オホーツクキャンパス)

東京農業大学北海道オホーツクキャンパスの有志を中心に結成され、来年正式に団体設立予定。釧路湿原に生息している天然記念物「キタサンショウウオ」の生態保護、保全、PR活動、新たな生息地の調査を行っている。

▶ 学生団体FeelLink (近畿大学農学部)

「人と環境の架け橋」になることをキーワードに、大学・NPO法人・企業と連携しながら活動をしている。「環境教育」、「教材園」、「ビオトープコーディネーター(BCP)」の3つのプロジェクトに分かれ、様々な視点から環境活動に取り組んでいる。環境教育・保全活動を通して、小学生やその両親向けに環境問題の啓発に尽力している。

▶ エコFIT (福岡工業大学)

福岡工業大学の社会環境学部の教育理念に基づいて運営する学生組織。ペットボトルのキャップ回収活動を通じたポリオワクチンの寄付活動や、音楽フェスでのごみ回収ボランティアへの参加、環境フェスティバル福岡でのワークショップ開催への参加など、様々な環境啓発活動へ取り組んでいる。

● ミーティング内容

〈1〉情報共有 ～SDGsの目標を再確認～ 〈2〉交流ミーティング

参加大学生の意見

- ◆ 意見交換を経て、今後の活動は他大学との連携や、自分たちの活動分野に関係する地元企業との連携をしていくという選択肢が見つかった。
- ◆ SDGsという言葉は近年たくさん耳にするが、開発と環境保護が乱立している。
- ◆ 「環境アセスメント」をしっかりすることで、開発による環境への影響を調査することが重要だと思った。
- ◆ 環境問題と一口に言っても問題は多岐にわたっているので、「Think globally, Act locally」の考え方は重要だと考えた。広い視点を持ちつつ、できることから行動していきたい。
- ◆ 無関心層にアプローチするのは困難だが、「環境活動に関心はあるけれど、何をしたらよいかわからない」という層にターゲットを絞り活動を実施したいと感じた。時間やパワーがある学生団体が様々な団体とつながり、お互いの足りない部分を補い合えればよいと感じた。
- ◆ 普段は同じ生活圏内の大学や社会人としか関わる機会がないが、今回のSDGsミーティングで北海道、関西、九州の環境活動を行う大学生と意見交換ができたことがとても良かった。他のメンバーにも、今日の学んだことをシェアしていきたい。また、同じテーマを持つ他大学と交流する機会はあまりないので、今後はもっと積極的にこういった場を作っていきたい。



第8回 全国ユース環境活動発表大会

地方大会 出場高校(全85団体)

2022年12月4日(日)~12月26日(月) 全国8地方で地方大会が開催されました。
(北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄 地方大会)

◇北海道地方大会(5団体)

北海道士幌高等学校
北海道羽幌高等学校
北海道美幌高等学校
市立札幌開成中等教育学校
北海道大野農業高等学校

◇東北地方大会(13団体)

青森県立名久井農業高等学校 ①
青森県立名久井農業高等学校 ②
青森県立三本木農業恵拓高等学校
青森県立むつ工業高等学校
岩手県立花巻農業高等学校
岩手県立遠野緑峰高等学校
秋田県立新屋高等学校
秋田県立能代松陽高等学校
秋田県立大館鳳鳴高等学校
宮城県農業高等学校
宮城県志津川高等学校
宮城県多賀城高等学校
山形県立山形西高等学校

◇関東地方大会(13団体)

栃木県立矢板東高等学校
栃木県立真岡北陵高等学校
群馬県立藤岡北高等学校
群馬県立尾瀬高等学校

千葉県立安房高等学校
晃華学園中学校高等学校
東京都立国際高等学校
東京都立府中東高等学校
東京都立南多摩中等教育学校
東京都立国分寺高等学校
オイスカ浜松国際高等学校
静岡県立駿河総合高等学校
静岡県立三島北高等学校

◇中部地方大会(9団体)

福井県立福井商業高等学校
福井県立大野高等学校
福井県立若狭高等学校 ①
福井県立若狭高等学校 ②
長野県佐久平総合技術高等学校
長野県上伊那農業高等学校
愛知県立佐屋高等学校
愛知県立半田商業高等学校
岐阜県立八百津高等学校

◇近畿地方大会(13団体)

京都府立宮津天橋高等学校
大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
大阪府立豊中高等学校能勢分校
大阪成蹊女子高等学校
大阪府立長尾高等学校

大阪府立みどり清朋高等学校
大阪府立富田林高等学校
高校生エシカル推進委員会
兵庫県立篠山東雲高等学校
兵庫県立播磨農業高等学校
兵庫県立豊岡総合高等学校
兵庫県立伊川谷高等学校
奈良育英高等学校

◇中国地方大会(12団体)

岡山県立笠岡高等学校
岡山県立岡山一宮高等学校 ①
岡山県立岡山一宮高等学校 ②
岡山県立倉敷青陵高等学校
岡山県立玉野高等学校
岡山学芸館高等学校
広島県立祇園北高等学校 ①
広島県立祇園北高等学校 ②
出雲西高等学校
山口県立下関西高等学校 ①
山口県立下関西高等学校 ②
山口県立下関西高等学校 ③

◇四国地方大会(7団体)

徳島県立徳島商業高等学校
香川県立多度津高等学校
愛媛大学附属高等学校

愛媛県立長浜高等学校
愛媛県立松山北高等学校
愛媛県立土居高等学校
愛媛県立小松高等学校

◇九州・沖縄地方大会(13団体)

博多女子高等学校
福岡県公立古賀成成館高等学校
福岡工業大学附属城東高等学校
大分県立大分商業高等学校
大分県立大分工業高等学校
佐賀県立鳥栖商業高等学校
長崎県立諫早農業高等学校 ①
長崎県立諫早農業高等学校 ②
長崎県立対馬高等学校
熊本県立熊本農業高等学校
熊本県立宇土高等学校
鹿児島県立屋久島高等学校
沖縄県立北部農林高等学校

全国大会 出場高校&表彰(全16団体)

2023年2月4日(土)~5日(日)、全国大会が開催されました。
地方大会より選出された全国の16校が発表をし、各賞を受賞しました。

環境大臣賞

宮城県農業高等学校 作物部門

環境再生保全機構理事長賞

群馬県立藤岡北高等学校 環境工学部

国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞

熊本県立熊本農業高等学校 養豚プロジェクト

読売新聞社賞

高校生エシカル推進委員会 高校生エシカル推進委員会

高校生が選ぶ特別賞

長野県佐久平総合技術高等学校 チームさくさけ

先生が選ぶ特別賞

北海道士幌高等学校 環境班

協賛企業特別賞

晃華学園中学校高等学校 Banana to The Futures

SDGs活動特別賞

大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程 エコ・プロジェクト部

優秀賞

北海道羽幌高等学校 SBFプロジェクトチーム

岩手県立花巻農業高等学校 ソーセージ研究班

愛知県立佐屋高等学校 科学部

山口県立下関西高等学校 公民班

山口県立下関西高等学校 化学2班

愛媛大学附属高等学校 理科部プラガールズ

愛媛県立長浜高等学校 チーム530

大分県立大分商業高等学校 商業調査部



開催概要 第8回 全国ユース環境活動発表大会 地方大会&全国大会

主催

全国ユース環境活動発表大会 実行委員会
(環境省・独立行政法人環境再生保全機構・国連大学サステナビリティ高等研究所)

後援

読売新聞社

協力

地方環境パートナーシップオフィス(EPO)
地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)
ESD 活動支援センター

協賛

キリンホールディングス株式会社 協栄産業株式会社
SG ホールディングス株式会社 株式会社タニタ

よろこびがたなく世界へ



Grow the new Story.

新しい価値で、新しい社会を、共に創る。